

GO! FORWARD

発行日■平成26年11月25日

発行者■笹岡一彦 福井県あわら市春宮一丁目5-14
TEL&FAX 0776-73-7105
www.sasaokakazuhiko.net

笹岡一彦ブログ

検索



笹岡一彦●県議会報告

平成26年 年末号

稲田朋美・笹岡一彦・橋本達也「国・県・市政トリプル報告会」を開催。 西川知事も激励に駆け付け、多くの市民の皆様で会場は満杯になる。

11月15日、稲田朋美・笹岡一彦・橋本達也の3名による「国・県・市政トリプル報告会」を開催しました。あわら市民の皆様方が市内全域から沢山集まって下さり、開会前に会場は満席となりました。

特に、坪田あわら市議会副議長はじめ市議会議員の方々、富田JA花咲ふくい組合長や久野商工会会長、達川あわら市区長会長、北潟地区からは佐孝幸一郎元県議会議員はじめ区長会長を先頭に各区区長や農政連及び北潟漁協関係者、そして波松地区からも有力者がご出席くださり、私も大いに元気と勇気をいただきました。



▲ 会場は市民で満杯



▲ 西川知事からの激励



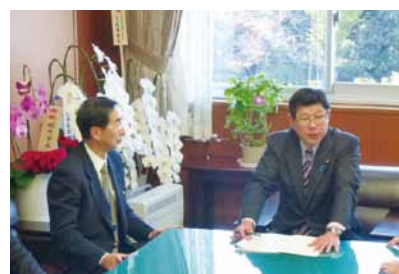
▲ 思想信条や年齢の近い3人



▲ 3人の後援会代表者

西川知事が、県議としての「3期12年間の実績」を証明

開会に当たり、笹原市議会議員長が主催者を代表してご挨拶された後、西川一誠知事からご祝辞をいただきました。西川知事は「笹岡議員には議長として県政に大きく貢献していただきました。北陸新幹線の県内延伸や工期短縮、道路整備や産業振興など大変お世話になりました。県議としても3期12年間、福井県にもあわら市にも非常に多くの実績を積んでこられました。特に県立あわら青年の家は議員中最高の実績です。今後も手を携えて一緒に仕事をしてみたい」と県議としての実績を証明して下さいました。



▲ 私からの県政報告

政治は「連携プレー」 コンビが悪いとまちの発展が止まり、混乱により市民が苦しむ。

私からの県政報告では、「3名が揃って政治報告会をすることも、西川知事が参加して下さったことも『政治は連携プレー』であることの何よりの証明。国会議員・知事・県議・市長・市議会のコンビネーションが発展には重要。市長と県議などの仲が悪いと町は混乱し、発展が止まり、市民は苦しむ。今は全てが一体化しているあわら市には国も県も安心して大きな予算を付けている。このせつかく良好な状態を壊すのは市民にとって大きな損失となる」ことをご説明しました。

これまでの「連携プレー」の事例として、北陸新幹線でも稲田先生と私の連携プレーで麻生財務大臣と知事との面談を実現し工期短縮を前進させたこと、国道8号線バイパスでも稲田先生と私と市長と市議会との連携で予算を獲得できたこと、県立あわら青年の家でも私と市長や市議会とが連携して知事を説得したことなどを紹介させていただきました。



▲ 話に聞き入る市民の皆様



▲ 稲田政調会長から国政報告

政治は「継続は力なり」。県議会議員も“年季”が必要。この政治力で市民に恩返ししたい。

12年前、私が一期目の時には、同期議員として市議会議長や有名経営者、県庁OBもいましたが、所詮一期生は一期生としてしか扱われず、予算も先輩議員から優先的に配分されるのが今も現実です。現在も、7期の議員はじめ有力者が多くおり、一期生では到底太刀打ちできません。議員は一定の年季が必要であり、その人材育成には長い時間がかかります。今まで時間をかけてせっかく市民が育ててきた議員をさらに育てていくことが、市民にとって最も有利な選択であることを訴えさせていただきます。

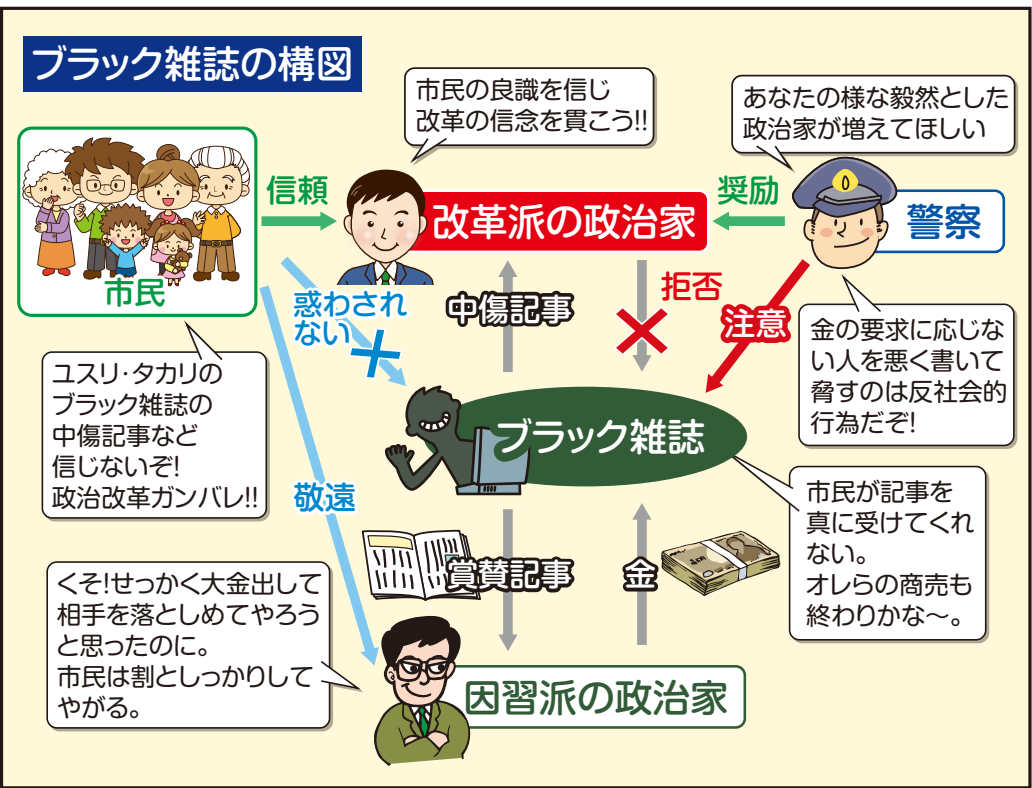
「まだ若く健康でこれから油が乗ってくる4期目の議員をフル活用するのが市民の利益。特に次の4年間をあわら市始まって以来、最も重要なまちづくりの正念場となる。なぜなら、40年かけて誘致した新幹線の用地買収、着工、駅周辺整備などがついに本番を迎え、国・県・市の間で調整能力の高い経験豊富な県議会議員が不可欠であり、商工業や農林水産業も大きな曲がり角にある時、国や県に地域の実情を強く発信できる力のある議員が必要」であることを訴えさせていただきました。

皆様のお陰で議長も経験させていただき、知識・経験・人脈・スキルをさらに身に付けさせていただきました。議長経験者には知事も県庁高官も一目置き、その重みが政治力となって物を言います。その力は「市民の力」でもあり、私と皆様との「共有財産」です。これを無にすることなく、今後一層この力に磨きを掛け、これをフルに活用し、あわら市民に恩返ししていきたいと申し上げました。

政治を「前へ」。政治改革のために「ブラック雑誌」と訣別。信念を貫く。

県議となり、最初に政治改革せねばと思ったのは「ブラック雑誌」です。最初の選挙の時には40社ほどが選挙事務所に来て、「金を出せ、出さなきゃ悪く書いて落としてやる」と凄んで来ました。ユスリ・タカリです。数百万円要求してきた業者もありました。警察からは「反社会的な者に絶対にお金を出しちゃいけない」と注意され、私は毅然として悪い政治因習に訣別することを決断し、今日までその信念を貫いてまいりました。今では私に共感する若い議員も次第が増えてきております。

これには同様に、稲田先生も西川知事も訣別されています。だから、私たちは選挙の前になると必ず事実無根のことを造って



でも悪く書かれるのが定番となっています。また、「ブラック雑誌」に金を積んで、選挙の相手を中傷して有利になろうとする卑劣な候補者もおります。しかし、このような悪い企みや古い因習、言葉の暴力に屈することはできません。

そのためにも、賢明な市民の皆様にはブラック雑誌のウソに惑わされないように、そして私が政治改革のために身体を張って闘っていることをご理解いただきますようお願い申し上げます。私は、あわら市民の良識を信じ、市民の皆様とともにスクラムを組んで政治改革をさらに前へ前へと進めてまいります。

その他、地方創生、人口減少対策、商工政策、農林水産業対策などについてお話するとともに、北陸新幹線の3年工期短縮やあわら青年の家などについて精力的に進めてきたことをご報告させていただきました。

3名の報告が終わると、商工会青年部、JA青年部、女性部の皆さんによるガンパロー三唱が行われ、奥村隆司自民党青年部長が音頭を取られ、「国・県・市、いずれも今の流れを止めてはいけません。3名の先生方を絶対に再選させるためにガンパロー!」と声高らかに盛り上げていただきました。

そして、最後に小林豊後援会長から御礼のご挨拶をさせていただき、初の試みであるトリプル報告会は大盛況の中にお開きとなりました。

ご多用の中をご出席いただいた多くの皆様、受付や駐車場、進行や撮影にご協力いただいたボランティアスタッフの皆様方、本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。



▲ 参加者全員でガンパロー三唱